

# 特定非営利活動法人

## デジタル・フォレンジック研究会のご紹介

<https://digitalforensic.jp/>

### ■ 設立趣旨

市場経済グローバル化の急速な進展や、少子高齢化の到来を目前に官公庁及び企業において管理部門の生産性や市民生活の利便性の一層の向上及び新しいビジネスモデルの構築等に、IT 機器・技術の利用促進は喫緊の課題となっている。一方、経済社会における情報化の急激な進展は、個人情報漏洩及びウイルスの蔓延等の情報セキュリティ上の様々な問題を引き起こしているところである。

情報セキュリティの各問題に対応するため、セキュリティポリシーの策定・実行、セキュリティホールの迅速な修正、ファイアーウォールや侵入検知システム導入等の“受動的な措置”が講じられてきたのが実情である。

近年、企業活動においてコンプライアンスの問題がクローズアップされるなど、組織及びその構成員の行動が社会規範に照らして容認されるものであるのか、その正当性が問われる時代となっている。また、企業等における危機管理の一環としてインシデントレスポンスの重要性が高まっているところであり、これらの問題の対応如何により企業等の死命を制する場合も生じてきている。更に、企業活動の国際化に伴う国内外の法的紛争に備えておくことも企業にとって必要不可欠なこととなっている。

また、同時にモバイル端末等の急速な普及に加え、クラウドや電子行政等の新しいインフラやサービス、施策等も加わってきており、その安全性の担保や、インシデント対応におけるデジタル・フォレンジックに関連する技術(手法)の導入及び関連法制度整備等の課題は益々多くなってきている。

インシデントレスポンスや法的紛争・訴訟の際には、組織等の行動の正当性評価が重要であり、組織内で使用されるIT 機器の電磁的記録の証拠保全及び調査・分析を行うとともに、改竄・毀損等についての分析・情報収集により組織体における行動の正当性を積極的に検証する“能動的な情報セキュリティ手法”、所謂「デジタル・フォレンジック」を活用する事の重要性も益々高まってきている。

「デジタル・フォレンジック研究会」は、平成 16 年 8 月 23 日に法執行機関を始めとして、他の官公庁、民間企業において「デジタル・フォレンジック」の普及促進を図り、健全な IT 社会の実現に貢献するために設立され、平成 16 年 12 月 15 日付で特定非営利活動法人として認証されました。※認証番号「16 生都管法特第 2012 号」

### ■ 活動内容

デジタル・フォレンジック研究会では、下記の活動をしております。当研究会の会員になれますと、下記のイベントに無料、または会員特別価格にてご参加頂けます。また、当研究会発行の刊行物を無料提供もしくは会員特別価格にてご購入頂けます。

#### 講習会・イベント

デジタル・フォレンジック・コミュニティや IDF 講習会を開催し、会員・一般の方へ向けて情報発信および普及・啓発をしています。

#### 分科会活動

「技術」、「法務・監査」、「医療」、「DF 人材育成」、「DF 普及状況調査」の 5 つの分科会を構成し、講習会や講演会を開催して研究内容の深化を図っています。詳しくは裏面をご参照下さい。

#### 他団体との提携

関係省庁や JNSA、JASA 等の団体と提携し、講演会の共催や、デジタル・フォレンジック技術・手法の標準化、ガイドライン、技術講習・認定等の研究・整備のための活動の企画・具体化をしています。

#### 書籍及び公開資料

『改訂版 デジタル・フォレンジック事典』	((株)日科技連出版社	2014 年発行)
『実践的 e ディスカバリ -米国民事訴訟に備える』	(NTT 出版(株))	2010 年発行)
『医療情報システムの安全管理に関するガイドライン』対応のための手引き』	(合同委員会編)	2016 年発行)
『証拠保全先媒体のデータ抹消に関する報告書』	(IDF「データ消去」分科会 WG 編)	2016 年発行)
『デジタル・フォレンジックの基礎と実践』	(東京電機大学出版局)	2017 年発行)
『地域医療連携組織のためのポリシー作成ガイド』(IDF「医療」分科会)	日本 IHE 協会合同 WG 編	2017 年発行)
『医療等の分野におけるフォレンジック技術の利用促進に向けて』	(IDF「医療」分科会 WG 編)	2017 年発行)
『証拠保全ガイドライン(第 6 版)』	(IDF「証拠保全ガイドライン」改訂 WG 編)	2017 年改訂)
「デジタル・フォレンジック普及状況調査」報告書	(IDF「DF 普及状況調査」分科会 WG 編)	2017 年発行)

### ■ ご入会について

ご入会を希望される方は、当研究会サイトにございますご入会フォームより、お申し込み下さい。

#### 《入会案内ページ》

個人: <https://digitalforensic.jp/home/nyukai/kojin-form/>

団体: <https://digitalforensic.jp/home/nyukai/comp-form/>

※E-mail または FAX でのお申し込みも受け付けております。

	入会金	年会費	備考
正会員(個人)	5,000円	5,000円	
正会員(団体)	10,000円	50,000円	
学生会員	0円	3,000円	
賛助会員(個人)	5,000円	5,000円	1口以上
賛助会員(団体)	10,000円	50,000円	1口以上

## 研究会活動

### 分科会

当研究会では、現在は下記の5つの分科会を編成しております。

①技術 ②法務・監査 ③医療 ④DF人材育成 ⑤DF普及状況調査

《各分科会の第14期(2017年度)活動方針 一部》

#### ① 技術

- ・「証拠保全ガイドライン」の拡充
- ・他のファーストレスポンスに係る活動をしている団体との連携の検討と試行的共同活動の実施、CSIRTや内部犯行対策を推進している団体へのアプローチと、デジタル・フォレンジックをベースとした連携の可能性の議論
- ・技術・事例に特化した分科会を4月より全4回開催

#### ② 法務・監査

- ・サイバー攻撃対策の動向と法整備についての最新情報の紹介
- ・知的財産権侵害の事例研究及びデジタルデータ流出防止策の考察
- ・監査業務でのデジタル・フォレンジック的な取り組みの考察
- ・米国におけるデジタル・フォレンジックに関わる法制度の検討・紹介
- ・当研究会から対外的に発信できる「法務・監査」系の公開資料の検討・作成を目指す
- ・分科会を6月より全5回開催

#### ③ 医療

- ・医療分野における諸団体と連携しての、成果物の検討・作成
- ・改正個人情報保護法施行後における医療情報の管理実態について医療機関等を対象としたフィールドワークの実施

#### ④ DF人材育成

- ・デジタル・フォレンジック用教育カリキュラムの確立
- ・技術者・研究者の増員・強化
- ・分科会を4月より全2回開催

#### ⑤ DF普及状況調査

- ・官民でのDF製品及びサービスの導入・使用状況、利用実態、社会認識等を調査。

### デジタル・フォレンジック・コミュニティ

毎年12月に2日間にわたり、デジタル・フォレンジックに詳しい各分野の講師の方をお招きして、コミュニティを開催しております。

《開催テーマ》

- 第1回: デジタル・フォレンジックの目指すもの
- 第2回: デジタル・フォレンジックの新たな展開
- 第3回: J-SOX時代のデジタル・フォレンジック
- 第4回: リーガルテクノロジーを見据えたフォレンジック
- 第5回: グローバル化に対応したデジタル・フォレンジック
- 第6回: 事故対応社会におけるデジタル・フォレンジック
- 第7回: 生存・成長戦略を支えるデジタル・フォレンジック
- 第8回: 実務適用が広まったデジタル・フォレンジック
- 第9回: 企業活動のグローバル化に伴うデジタル・フォレンジック基盤の確立
- 第10回: サイバー攻撃激化時代のデジタル・フォレンジック
- 第11回: ビッグデータ時代のデジタル・フォレンジック
- 第12回: IoT/クラウド、M2Mのデジタル・フォレンジック
- 第13回: 実用化が進み始めたIoT/自動化とデジタル・フォレンジック

《報告書》

コミュニティ開催後に、報告書を作成し会員の皆様に送付しております。なお、過去のコミュニティ報告書につきましては、会員及び一般の方にも販売しております。

各回/1冊 会員価格: 1,500円  
一般価格: 2,000円

### IDF講習会

団体会員各社が保有するデジタル・フォレンジック製品のサービスやトレーニング内容等の特性を、短期間で情報提供する場として、講習会を実施致します。

## 役員構成

《会長》

- ◆安富 潔(京都産業大学法務研究科客員教授・法教育総合センター長、慶應義塾大学 名誉教授、弁護士)

《副会長》

- ◆上原 哲太郎(立命館大学 情報理工学部 セキュリティ・ネットワークコース 教授)
- 佐藤 慶浩(オフィス四々十六 代表)

《理事兼顧問》

- ◆辻井 重男(中央大学 研究開発機構 機構フェロー・機構教授)
- 佐々木 良一(東京電機大学 未来科学部 教授)

《理事》

- ◇石井 徹哉(千葉大学 副学長 大学院専門法務研究科 教授)
- ◇伊藤 一泰(栗林運輸(株) 監査役)
- ◇江原 悠介(PwC あらた有限責任監査法人 システム・プロセス・アシユアランス部 マネージャー)
- ◇小向 太郎(日本大学 危機管理学部 教授)
- ◇小山 覚(NTTコミュニケーションズ(株) 情報セキュリティ部 部長)

- ◇須川 賢洋(新潟大学大学院 現代社会文化研究科・法学部 助教)
- ◇手塚 悟(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授)
- ◇名和 利男((株)サイバーディフェンス研究所 専務理事 /上級分析官)

- ◇西川 徹矢(笠原総合法律事務所 弁護士)
- ◇舟橋 信((株)FRONTEO 取締役、(株)セキュリティ工学研究所 取締役)

- ◇古川 俊治(慶應義塾大学 法科大学院教授・医学部外科教授、弁護士、参議院議員)

- ◇町村 泰貴(北海道大学大学院 法学研究科 教授)

- ◇松本 隆(SCSK(株) セキュリティサービス部 エバンジェリスト/セキュリティアナリスト)

- ◇丸谷 俊博((株)フォーカスシステムズ 新規事業推進室 室長)
- ◇宮坂 肇((株)NTTデータ・アイ SDコンピテンシー推進部 シニア・スペシャリスト)

- ◇守本 正宏((株)FRONTEO 代表取締役社長)
- ◇湯浅 壘道(情報セキュリティ大学院大学 学長補佐、教授)
- ◇和田 則仁(慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 講師)

《監事》

- 丸山 満彦(デロイトトーマツリスクサービス(株) 代表取締役社長)
- 熊平 美香((一財)クマヒラセキュリティ財団 代表理事)

## お問い合わせ先

特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-4-1 ハニー五反田第2ビル3階

TEL:03-5420-1805 FAX:03-5420-3634 E-mail: info@digitalforensic.jp

詳しくは研究会WEBサイトをご参照下さい。

<https://digitalforensic.jp/>